

## 2024年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年9月25日

上場会社名 株式会社大光 上場取引所 東  
 コード番号 3160 URL <https://www.oomitsu.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 金森 武  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777  
 四半期報告書提出予定日 2023年10月11日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年5月期第1四半期の連結業績(2023年6月1日～2023年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	16,590	10.0	301		323		201	
2023年5月期第1四半期	15,083	21.5	5		19		4	

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 251百万円 (793.4%) 2023年5月期第1四半期 28百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	13.74	
2023年5月期第1四半期	0.38	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第1四半期	20,349	5,576	27.4	379.82
2023年5月期	20,499	5,406	26.4	368.20

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 5,576百万円 2023年5月期 5,406百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期		4.50		5.50	10.00
2024年5月期					
2024年5月期(予想)		5.50		5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日～2024年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,860	9.8	560	240.9	590	207.4	370	290.1	25.20
通期	70,300	8.4	1,350	77.1	1,400	70.7	900	112.1	61.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年9月25日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年5月期1Q	14,883,300 株	2023年5月期	14,883,300 株
期末自己株式数	2024年5月期1Q	200,012 株	2023年5月期	200,012 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年5月期1Q	14,683,288 株	2023年5月期1Q	13,250,788 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へ移行されたことに伴い、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、円安傾向の継続やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源・原材料価格の高騰など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、仕入価格や物流費等の上昇が継続しているものの、飲食店や観光地への人流の回復に伴い客足は増加傾向にあり、今後は外食需要やインバウンド需要の一層の回復が期待されております。

このような環境のなか、業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」においては、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、輸出販売の推進や新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は165億90百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は3億1百万円（前年同期比2億96百万円増）、経常利益は3億23百万円（前年同期比3億4百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億1百万円（前年同期比1億96百万円増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (外商事業)

当事業におきましては、外食需要の回復に伴い当事業を取り巻く経営環境は改善が進み、急増する顧客ニーズに対応した商品提案に注力するとともに、既存得意先との深耕や、給食、病院、中食など幅広い業態への新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は106億46百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益は89百万円（前年同期は営業損失71百万円）となりました。

#### (アマカ事業)

当事業におきましては、外食需要の回復に対応し外食事業者向けの品揃えの充実化や営業活動の強化を図るとともに、メーカーフェア等の販売施策の展開、SNSを活用した販促活動の強化、家庭内消費に適したアイテム拡充など、外食事業者から一般消費者まで幅広いお客様にご利用しやすい店舗運営に努めてまいりました。新規出店については、2023年6月に富士店（静岡県富士市）を開業いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は55億81百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は4億30百万円（前年同期比48.8%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として50店舗であります。

#### (水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、輸出販売の推進や新規開拓の強化に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益性の向上を図るとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

しかしながら、2023年8月に中国による日本産水産物の全面輸入停止が発表され、当事業においても中国向けの輸出販売を停止したことから、売上高は減少しました。

この結果、水産品事業の売上高は3億92百万円（前年同期比56.5%減）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益43百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して商品が4億24百万円、現金及び預金が1億84百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が6億4百万円減少したこと等により、流動資産は全体で5百万円減少しました。一方固定資産は、投資有価証券が70百万円減少したこと等により、全体で1億43百万円減少しました。その結果、資産総額は、前連結会計年度末と比較して1億49百万円減少し、203億49百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が1億51百万円減少したこと等により、流動負債が全体で94百万円減少しました。一方固定負債は、長期借入金が2億25百万円減少したこと等により、全体で2億25百万円減少しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して3億20百万円減少し、147億73百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が1億21百万円増加したこと等により、1億70百万円増加し、55億76百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の業績予想につきましては、2023年7月12日に公表の業績予想を修正しております。詳細は、本日別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	629,735	813,827
受取手形及び売掛金	5,984,107	5,379,255
有価証券	121,881	195,052
商品	4,612,669	5,037,517
貯蔵品	80,278	80,893
その他	1,134,621	1,051,600
貸倒引当金	△4,558	△5,381
流動資産合計	12,558,736	12,552,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,213,174	3,173,327
その他（純額）	1,807,987	1,826,716
有形固定資産合計	5,021,162	5,000,043
無形固定資産	23,436	24,585
投資その他の資産		
投資有価証券	1,055,607	985,574
その他	1,849,007	1,795,006
貸倒引当金	△8,221	△7,974
投資その他の資産合計	2,896,393	2,772,605
固定資産合計	7,940,991	7,797,234
資産合計	20,499,727	20,349,999

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,665,257	7,191,304
短期借入金	1,894,000	1,742,500
1年内返済予定の長期借入金	1,136,124	1,086,234
未払法人税等	240,194	80,444
賞与引当金	243,837	127,060
ポイント引当金	28,851	26,578
その他	1,256,596	1,116,137
流動負債合計	11,464,861	11,370,258
固定負債		
長期借入金	1,897,214	1,672,043
役員退職慰労引当金	306,983	310,221
退職給付に係る負債	423,734	430,003
資産除去債務	514,809	516,533
その他	485,744	473,961
固定負債合計	3,628,486	3,402,762
負債合計	15,093,347	14,773,021
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,482,063	1,482,063
資本剰余金	1,385,862	1,385,862
利益剰余金	2,472,294	2,593,342
自己株式	△33,904	△33,904
株主資本合計	5,306,316	5,427,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,840	135,766
繰延ヘッジ損益	408	△2,109
退職給付に係る調整累計額	16,814	15,955
その他の包括利益累計額合計	100,063	149,612
純資産合計	5,406,380	5,576,977
負債純資産合計	20,499,727	20,349,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	15,083,880	16,590,980
売上原価	12,196,850	13,213,703
売上総利益	2,887,030	3,377,276
販売費及び一般管理費	2,881,613	3,075,639
営業利益	5,417	301,637
営業外収益		
受取利息	3,082	3,042
受取配当金	3,306	3,935
受取賃貸料	23,151	23,986
受取手数料	5,412	5,534
その他	7,105	12,282
営業外収益合計	42,057	48,782
営業外費用		
支払利息	5,150	5,291
賃貸費用	17,271	17,274
固定資産除売却損	619	1,179
その他	5,176	3,254
営業外費用合計	28,218	26,999
経常利益	19,256	323,420
税金等調整前四半期純利益	19,256	323,420
法人税、住民税及び事業税	14,675	61,218
法人税等調整額	△408	60,395
法人税等合計	14,266	121,613
四半期純利益	4,989	201,806
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,989	201,806



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	4,989	201,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,298	52,926
繰延ヘッジ損益	20,620	△2,518
退職給付に係る調整額	△774	△858
その他の包括利益合計	23,144	49,549
四半期包括利益	28,133	251,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,133	251,355
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年6月1日 至2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,215,577	4,999,844	863,654	15,079,076	4,804	—	15,083,880
セグメント間の内部売上高又は振替高	411	4,940	39,286	44,638	—	△44,638	—
計	9,215,988	5,004,785	902,941	15,123,715	4,804	△44,638	15,083,880
セグメント利益又は損失(△)	△71,443	289,454	43,927	261,938	2,633	△259,154	5,417

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△259,154千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年6月1日 至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,645,965	5,574,310	365,889	16,586,166	4,814	—	16,590,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	60	7,505	26,979	34,544	—	△34,544	—
計	10,646,025	5,581,816	392,868	16,620,711	4,814	△34,544	16,590,980
セグメント利益又は損失(△)	89,375	430,609	△3,400	516,585	2,876	△217,824	301,637

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△217,824千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。